



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月4日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,204	12.0	716	6.3	726	7.2	462	8.5
26年3月期第2四半期	12,685	13.4	673	20.2	677	19.1	425	15.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	40.98	—
26年3月期第2四半期	37.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,269	4,503	36.7
26年3月期	11,325	4,201	37.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,503百万円 26年3月期 4,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成26年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実績を記載しております。

(注3) 期末配当金の内訳は、以下のとおりであります。

平成26年3月期 普通配当 28円00銭 記念配当 2円00銭

平成27年3月期 普通配当 15円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,583	4.4	1,334	2.9	1,333	1.7	838	6.4	74.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	11,280,000株	26年3月期	11,280,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,476株	26年3月期	2,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	11,277,524株	26年3月期2Q	11,277,524株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成26年4月に実施された消費税率の引き上げの影響等で実質賃金が低下する中、個人消費や住宅投資が落ち込んだほか、企業の生産活動も弱含んで推移する状況となりました。また為替水準は、前半は1ドル102円前後で比較的安定して推移しておりましたが、後半に入って米国の利上げ観測が強まったことで、1ドル109円台まで急激に円安が進行しました。

医療機器業界におきましては、平成26年4月に診療報酬が改定されました。これに伴い、当社の取扱商品に係る保険償還価格については、全般的に引き下げられることとなりました。

このような情勢のもと当社では、平成26年9月3日に、当社株式の東京証券取引所市場第一部銘柄への指定を実現するとともに、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は14,204,268千円（前年同期比12.0%増）となりました。営業利益は、増収効果がある一方、新商品の治験費用の発生等により販売費及び一般管理費が増加したことで716,217千円（前年同期比6.3%増）となりました。また、経常利益は726,397千円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は462,206千円（前年同期比8.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、電極カテーテル類やCRT-D（両室ペーシング機能付き植込み型除細動器）等の主力商品の販売数量が増加し、当第2四半期累計期間の売上高は11,492,982千円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は1,630,805千円（前年同期比7.0%増）となりました。

② 虚血事業

輸入総代理店として取り扱っているエキシマレーザ血管形成システムの関連商品が、本体の普及に伴って好調に推移いたしました。また、冠動脈ステント等を取り扱っている販売代理店としても、既存顧客の深耕及び新規顧客の開拓に注力し、好調に推移いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,161,984千円（前年同期比17.2%増）、セグメント利益は712,071千円（前年同期比8.7%増）となりました。

③ その他

脳外科関連商品の販売が好調に推移するとともに、大型機器の販売があったことから、当第2四半期累計期間の売上高は549,301千円（前年同期比109.9%増）、セグメント利益は58,225千円（前年同期比75.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ898,102千円増加し、11,470,331千円となりました。これは主に、売上高の増加に伴って受取手形及び売掛金が524,554千円、商品が366,859千円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ46,317千円増加し、799,295千円となりました。これは主に、デモ用の営業資産等の取得により、有形固定資産が25,889千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ944,420千円増加し、12,269,626千円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ587,054千円増加し、7,427,521千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が543,450千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ55,467千円増加し、338,725千円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ642,522千円増加し、7,766,246千円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ301,897千円増加し、4,503,380千円となりました。これは主に、剰余金の配当により169,162千円減少したものの、四半期純利益により462,206千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は36.7%（前事業年度末は37.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得153,265千円、投資活動による資金の支出△65,784千円、財務活動による資金の支出△151,357千円等により、前事業年度末と比較して△60,693千円減少して3,126,169千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益726,040千円に加え、仕入債務の増加543,450千円、売上値引引当金の増加105,681千円等の増加要因があったものの、売上債権の増加△524,554千円、たな卸資産の増加△394,061千円等の減少要因があったことから、153,265千円の資金の獲得（前年同期は68,596千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得により△35,198千円、無形固定資産の取得により△30,876千円それぞれ支出したこと等から、△65,784千円の資金の支出（前年同期は△52,424千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れにより80,000千円を調達する一方、配当金の支払△168,584千円及び長期借入金返済△61,747千円等があったことから、△151,357千円の資金の支出（前年同期は△204,445千円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の売上高は、電極カテーテル類やエキシマレーザ関連商品が好調に推移したほか、計画外で大型機器の販売があったこと等により、当初の計画を5.2%上回りましたが、全体としては概ね想定範囲内で推移することとなりました。一方販売費及び一般管理費は、新商品の治験が計画に対して若干遅延していることから、当該費用の一部の発生が第3四半期以降にずれ込むこととなりました。その結果、営業利益は当初の計画に比べて16.8%、経常利益は18.6%、四半期純利益は19.8%、それぞれ上回ることとなりました。

通期の業績については、販売面においては引き続き当初想定した範囲で推移するものと予想しております。また、新商品の治験費用についても、通期では当初の計画通りに発生するものと見込まれております。従って、平成27年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日公表の「平成26年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,186,862	3,126,169
受取手形及び売掛金	6,584,632	7,109,187
商品	550,707	917,566
繰延税金資産	141,000	176,000
その他	111,326	142,308
貸倒引当金	△2,300	△900
流動資産合計	10,572,228	11,470,331
固定資産		
有形固定資産	298,896	324,786
無形固定資産	42,081	52,116
投資その他の資産		
投資有価証券	212,129	225,888
差入保証金	116,467	116,161
繰延税金資産	73,000	69,000
その他	10,402	11,342
投資その他の資産合計	411,999	422,392
固定資産合計	752,977	799,295
資産合計	11,325,206	12,269,626
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,931,865	6,475,316
1年内返済予定の長期借入金	93,533	73,865
未払法人税等	368,000	319,500
賞与引当金	218,939	204,580
売上値引引当金	—	105,681
その他	228,128	248,577
流動負債合計	6,840,466	7,427,521
固定負債		
長期借入金	53,347	91,268
退職給付引当金	148,930	156,952
役員退職慰労引当金	70,918	74,681
その他	10,061	15,823
固定負債合計	283,257	338,725
負債合計	7,123,723	7,766,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	3,510,851	3,803,894
自己株式	△547	△547
株主資本合計	4,169,492	4,462,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,990	40,844
評価・換算差額等合計	31,990	40,844
純資産合計	4,201,482	4,503,380
負債純資産合計	11,325,206	12,269,626

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,685,082	14,204,268
売上原価	10,472,803	11,803,166
売上総利益	2,212,279	2,401,102
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	541,765	589,965
賞与引当金繰入額	185,332	204,580
役員退職慰労引当金繰入額	3,900	3,762
退職給付費用	18,305	13,024
その他	789,042	873,552
販売費及び一般管理費合計	1,538,345	1,684,884
営業利益	673,934	716,217
営業外収益		
受取利息	172	175
貸倒引当金戻入額	12,841	1,400
デリバティブ評価益	1,220	11,915
その他	507	3,534
営業外収益合計	14,741	17,025
営業外費用		
支払利息	676	391
為替差損	10,265	6,454
営業外費用合計	10,941	6,846
経常利益	677,734	726,397
特別損失		
固定資産除却損	788	356
特別損失合計	788	356
税引前四半期純利益	676,946	726,040
法人税、住民税及び事業税	277,841	299,738
法人税等調整額	△26,862	△35,903
法人税等合計	250,979	263,834
四半期純利益	425,966	462,206

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	676,946	726,040
減価償却費	34,948	42,926
のれん償却額	4,192	4,192
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,220	△11,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,541	△1,400
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,000	△14,359
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,532	8,022
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,275	3,762
売上値引引当金の増減額(△は減少)	40,218	105,681
受取利息及び受取配当金	△236	△245
支払利息	676	391
為替差損益(△は益)	523	△3,183
固定資産除却損	788	356
売上債権の増減額(△は増加)	△610,001	△524,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,551	△394,061
仕入債務の増減額(△は減少)	354,408	543,450
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,496	36,176
その他	△65,382	△19,832
小計	308,083	501,448
利息及び配当金の受取額	236	244
利息の支払額	△718	△441
法人税等の支払額	△239,004	△347,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,596	153,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,404	△35,198
有形固定資産の売却による収入	244	—
無形固定資産の取得による支出	△3,045	△30,876
差入保証金の差入による支出	△660	△349
差入保証金の回収による収入	2,623	655
その他	△181	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,424	△65,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△63,376	△61,747
配当金の支払額	△140,310	△168,584
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△758	△1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,445	△151,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	△523	3,183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,798	△60,693
現金及び現金同等物の期首残高	3,188,666	3,186,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,999,868	3,126,169

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。